

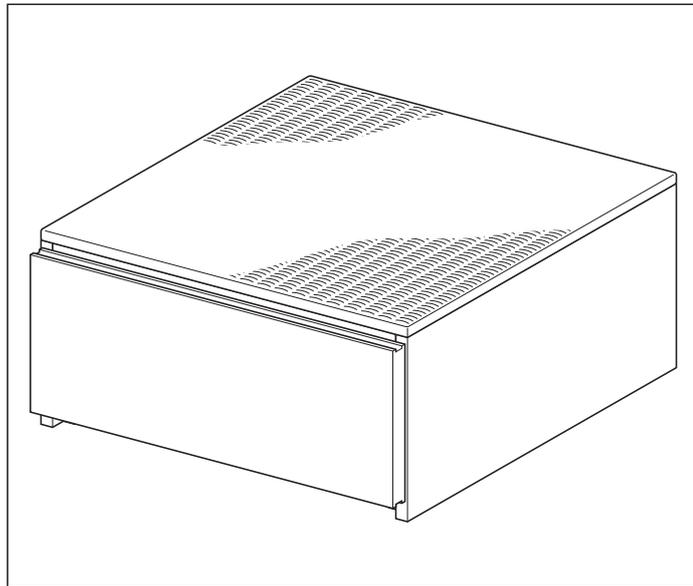
Stylish Furniture

MiSEL

スタイリッシュファニチャー ミセル

小上りユニット

このたびは、「DAIKEN製品」をご採用いただきありがとうございます。
 ございます。



施工の際は、以下の工具をご用意ください。

- 電動ドリル
 - ※ インパクトドライバーは金具の破損やユニットの破損につながるおそれがあるため、使用しないでください。
- 手回しドライバー
- ゴムハンマー
- 水準器



※左記のマークがある場合は、
 電動ドリルを使用しないでください。

施工業者様へ

弊社では、お施様が製品を安全に正しくご使用いただくための
 お願い事項やお手入れ方法などの重要な内容を記載した
 「取扱説明書」を添付しております。

必ず、取扱説明書をお施様に手渡し、使用方法
 を説明していただきますようお願いいたします。

※ 取扱説明書は下記のURLからダウンロードできます。
<https://www.daiken.jp/qr/manual/>



もくじ

施工説明書

| | |
|-----------------------------|----|
| 1 安全上のご注意 | 1 |
| 2 施工の流れ | 2 |
| 3 各部のなまえ | 3 |
| 4 部材・部品表(施工前に必ず部品を確認してください) | 4 |
| 5 レイアウト例 | 5 |
| 6 施工前の準備 | 5 |
| 7 小上りユニットの組立て | 6 |
| 8 引出しの組立て(オープンタイプのみ) | 11 |
| 9 オプション・その他の取付け | 14 |
| 10 ユニットの連結・壁への固定 | 16 |
| 11 製品寸法図 | 17 |

- この製品の性能と安全性を確保するために、この施工説明書
 をよく読みいただき、手順通りに正しく施工してください。
- この説明書に出てくる①、②マークや「お願い」は、施工上重要な
 内容が記載されていますので、注意深く読み、よく理解してから
 作業してください。
- 梱包材や残材は、法律に従って適切に処理してください。
- 総合施工説明書(FLJ773)を併せてご覧ください。
- 製品を廃棄する際は、法律および地方自治体の規則に基づ
 いて適切に処理してください。

取扱説明書

| | |
|-----------------------|----|
| 1 お使いになる前に | 19 |
| 2 引出しの使いかた(オープンタイプのみ) | 22 |
| 3 本体のお手入れのしかた | 22 |
| 4 畳のお手入れのしかた | 23 |
| 5 定期的な点検項目 | 23 |

- この説明書は、本製品の取扱い方法について説明します。
- ご使用前に「安全上のご注意」(20ページ)を必ず読み
 ください。
- この取扱説明書に記載されている「⚠警告」と「⚠注意」事
 項は、使用上重要な内容です。
 本製品の性能と安全性を確保するために、よく読みいた
 だき、正しくお使いください。
- お読みになった後は、いつでも利用できるように、この取扱説
 明書を大切に保管してください。

1 安全上のご注意

この製品をお施主様が未永く安全に使えるように、またトラブルなく確実な施工をするために、以下のことを必ず守ってください。

警告表示の種類と内容

| | | |
|--|-----------|-------------------------------|
|  | 警告 | 誤った取扱いにより死亡や重傷などに結びつく可能性のある内容 |
|--|-----------|-------------------------------|

| | | |
|---|-----------|---------------------------------|
|  | 注意 | 誤った取扱いにより傷害または家屋・家財などの損害に結びつく内容 |
|---|-----------|---------------------------------|

本文中に使われている図・記号の意味は次のとおりです。

| | |
|--|-------------|
|  | してはいけない内容です |
|--|-------------|

| | |
|---|----------------|
|  | 必ず実行していただく内容です |
|---|----------------|

| | |
|---|-----------------------|
|  | 留意事項、操作方法、使用・お手入れ方法など |
|---|-----------------------|

警告

-  製品を壁面に固定する際は、必ず十分な強度のある下地に確実に固定してください。
十分な強度がない壁面に固定すると、製品が外れたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。
-  製品を壁面に固定する際は、指定されたビスと本数で確実に固定してください。
指定外のビスを使ったり、本数が少ないと、製品が外れて、けがをするおそれがあります。
-  ビスの締め付け不足、またはビスの締め過ぎによる空回りの状態に注意してください。
製品が外れて、けがや破損のおそれがあります。

-  この製品は、ベンチとしての使用を目的にしています。製品の上で飛び跳ねたり、走り回ったりしないでください。
落下や破損して、けがをする原因になります。
-  引出しの取付けは、正しい位置に付属の金具・ネジを使って確実におこなってください。
固定が不完全な場合、脱落などにより、けがや破損のおそれがあります。

注意

-  この製品は、一般住宅向け室内用です。他の用途に使用したり、水に濡らさないでください。
屋外での使用や水濡れは、変色や変形の原因になり、事故につながるおそれがあります。
-  本書では標準品に準じた寸法を表示しております。特注・特寸で製造した製品については、現品のサイズ・加工などを確認のうえ施工してください。
-  施工時の製品の取扱いにご注意ください。
本製品は木質製品ですので、落下や衝突によりキズ、凹みがつく場合があります。
-  製品を立て掛けたり、不安定な場所に置いたりしないでください。
製品が倒れてけがをしたり、製品が傷ついたり、反りが発生したりする原因になります。
-  製品の分解や改造をしないでください。
施工時に製品の形状を変えるような加工などをされた場合は、品質保証責任を負いかねます。

お願い

- 養生テープを製品に直接貼付けないでください。
表面化粧がはがれたり、接着剤が残ることがあります。
- 一度使用されたダボ穴や取付ネジ、取付ビスを外すと、穴が大きくなったり、バリが発生したりします。
部材や部品の取付位置をお施主様とよく相談のうえ、施工してください。

2 施工の流れ

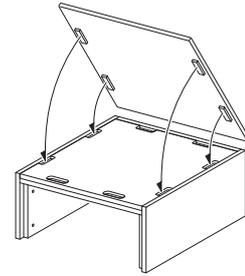
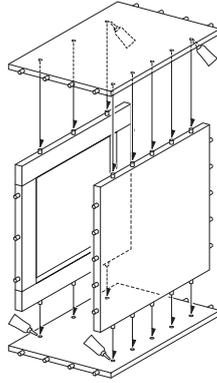
この製品の組立ては、ユニット本体を組立て、畳、引出し（オープンタイプのみ）、オプションの順に取付けます。組立てが終わったら、引出し（オープンタイプのみ）がスムーズに出し入れできることを確認してください。

床置きタイプの場合

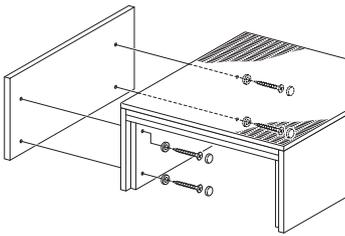
- ①レイアウトの決定と
壁固定用下地の準備

- ②ユニット本体の組立て
(→P.6)

- ③畳の取付け
(→P.10)



- ④オプション・その他の取付け
(→P.14)

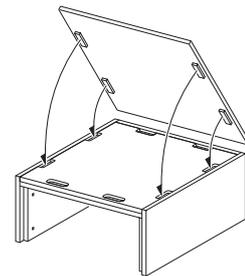
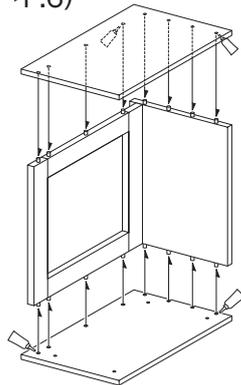


オープンタイプ（引出し付）の場合

- ①レイアウトの決定と
壁固定用下地の準備

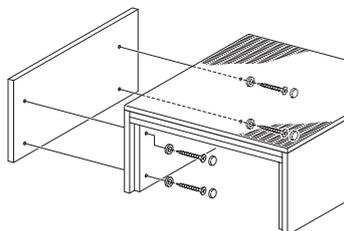
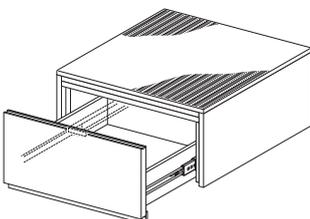
- ②ユニット本体の組立て
(→P.6)

- ③畳の取付け
(→P.10)



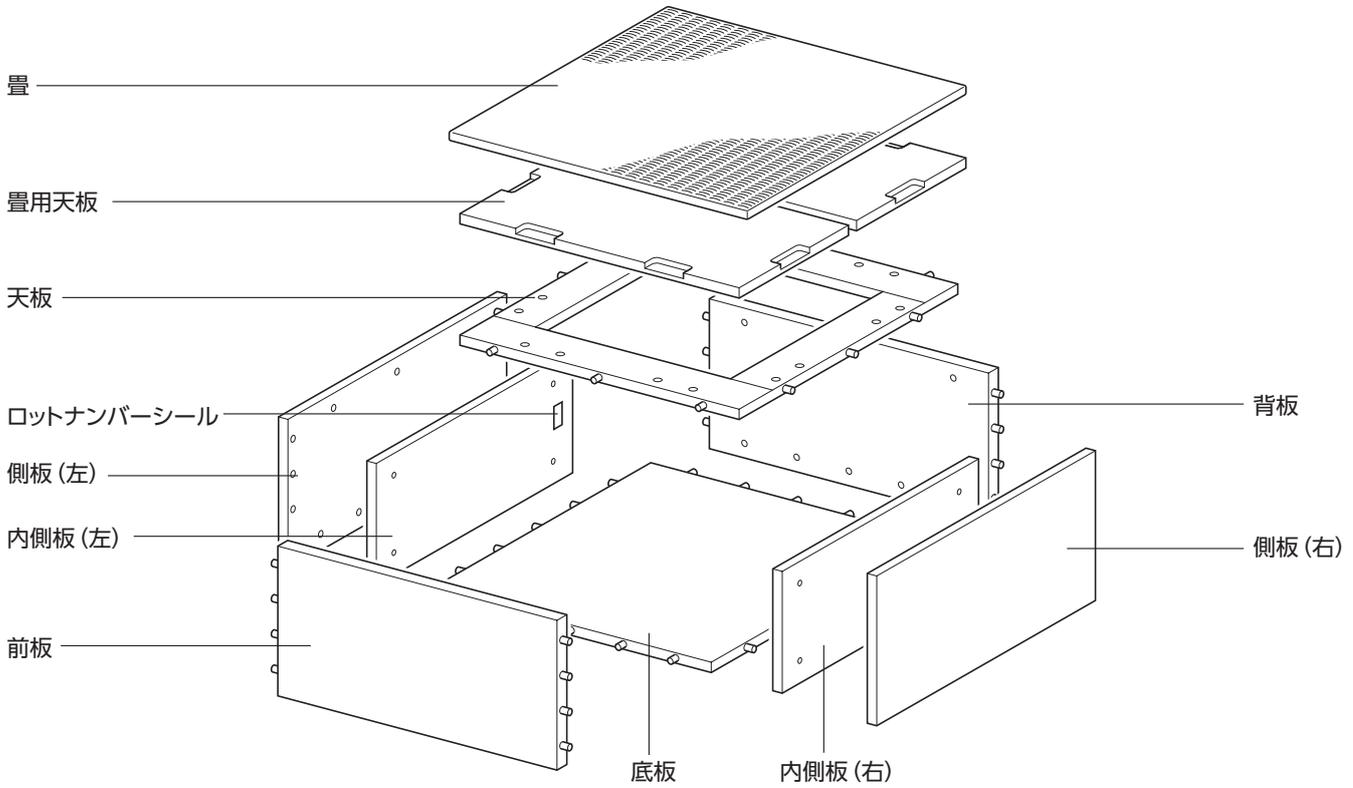
- ④引出しの組立て
(→P.11)

- ⑤オプション・その他の取付け
(→P.14)

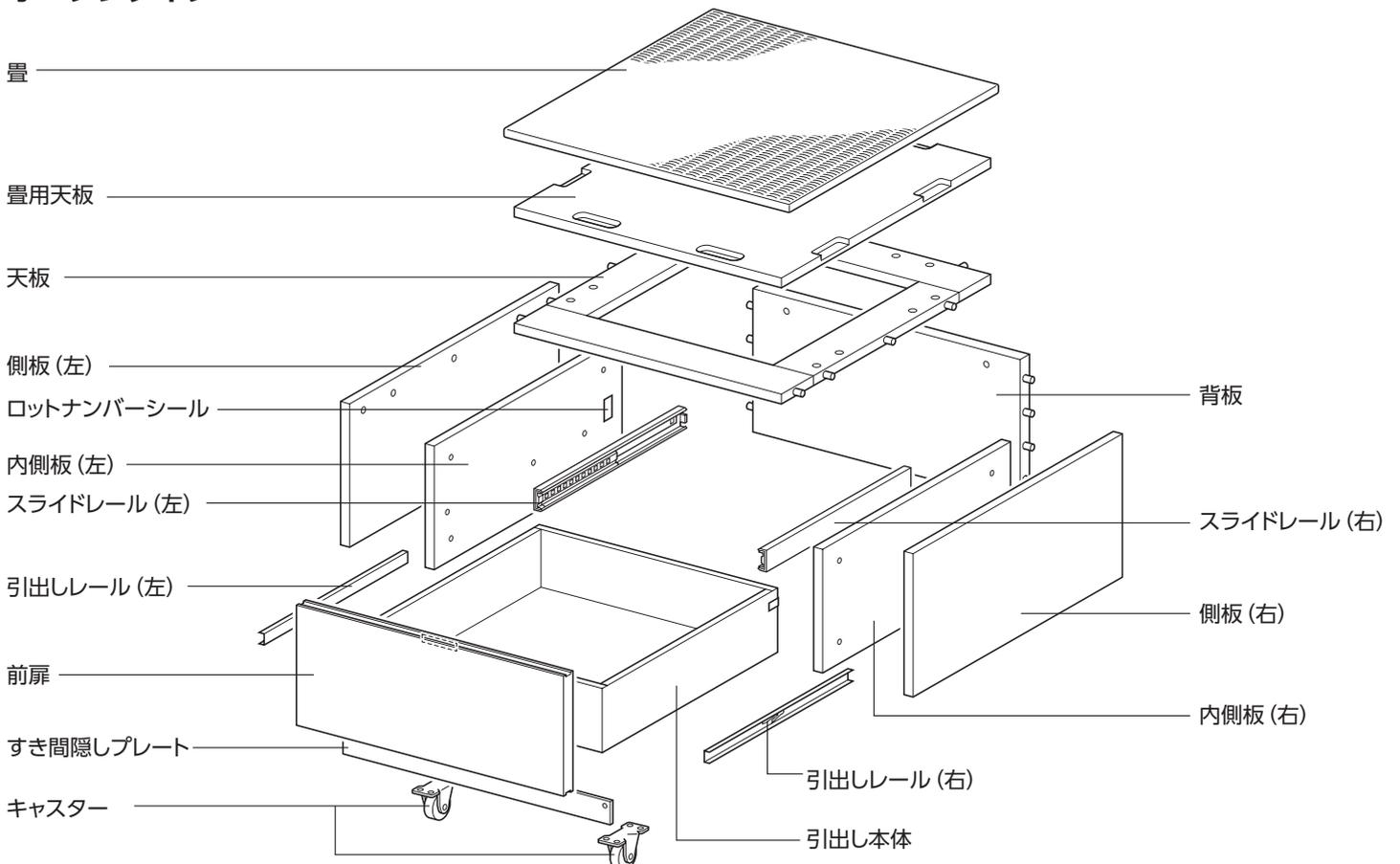


3 各部のなまえ

床置きタイプ



オープンタイプ



4 部材・部品表 (施工前に必ず部品を確認してください)

部材の種類と数量、状態を確認してください。

畳ユニット

| 部材の種類 | | タイプ | 床置きタイプ | オープンタイプ |
|-------------------|--|-----------|--------|---------|
| 水平部材 | 天板 | | 1 | 1 |
| | 底板 | | 1 | - |
| | 畳用天板 | | 1セット | 1 |
| 垂直部材 | 側板 | | 2 | 左右各1 |
| | 前板・背板(共通) (床置きタイプ用) | | 2 | - |
| | 背板 (オープンタイプ用) | | - | 1 |
| | 内側板 | | 2 | 左右各1 |
| 締結部材など (個装袋入り) | すき間隠しプレート (塗装鋼板) | ブラック/ホワイト | - | 1 |
| | ※引出し前扉の裏面・下部への取付用 ※幅が特注の場合は同梱されていません。 | | | |
| | すき間隠しプレート取付ビス ナベビスφ3.5×13 | | - | 4 |
| | スベリ止め (40mm幅×820mm長) | 820 40 | 1 | 1 |
| | 連結ビスφ4.2×42 | | 10 | 10 |
| | 連結ビスφ3.8×28 | | 14 | 14 |
| | ワッシャ | | 36 | 36 |
| | キャップ | | 36 | 36 |
| | 壁固定ビスφ3.8×51 | | 8 | 8 |
| | 壁固定ビスφ3.8×75 | | 4 | 4 |
| 接着剤(木工用ボンド) | | 1 | 1 | |

畳(別売品)

| 部材の種類 | 個数 |
|-------|-------|
| 畳 | 1または2 |

小上り用エンドパネル(別梱包)

| 部材の種類 | 個数 |
|---|----|
| エンドパネル | 1 |
| 木口テープ (500mm長) ※クロス調には同梱されていません。 | 1 |
| 連結ビスφ3.8×41 | 4 |
| ワッシャ | 4 |
| キャップ | 4 |

小上り用バックパネル(別梱包)

| 部材の種類 | 個数 |
|---|----|
| バックパネル | 1 |
| 木口テープ (500mm長) ※クロス調には同梱されていません。 | 1 |
| 連結ビスφ3.8×25 | 4 |
| ワッシャ | 4 |
| キャップ | 4 |

キャスター付重量用引出し (オープンタイプ)(別梱包)

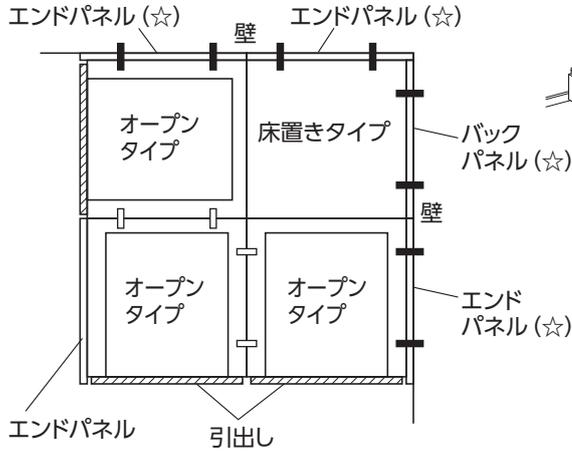
| 部材の種類 | 個数 |
|--------------------|---------|
| 引出し本体 | 1 |
| 前扉 | 1 |
| スライドレール | 2(左右各1) |
| キャスター | 2 |
| コーススレッドφ3.5×32 | 10 |
| ワッシャ | 10 |
| キャップ | 10 |
| トラスビスφ4×14 | 20 |

5 レイアウト例

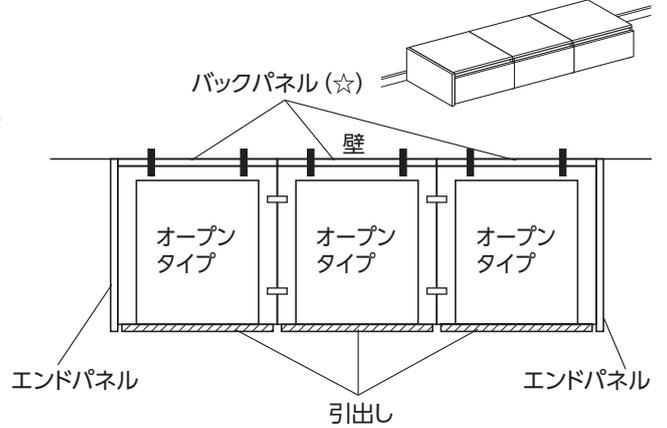
この製品を組合せることによって、下記のようなレイアウトがおこなえます。

※図中の ≡ はユニット同士の連結、— は壁固定を表しています。(納まりは参考です。この限りではありません。)

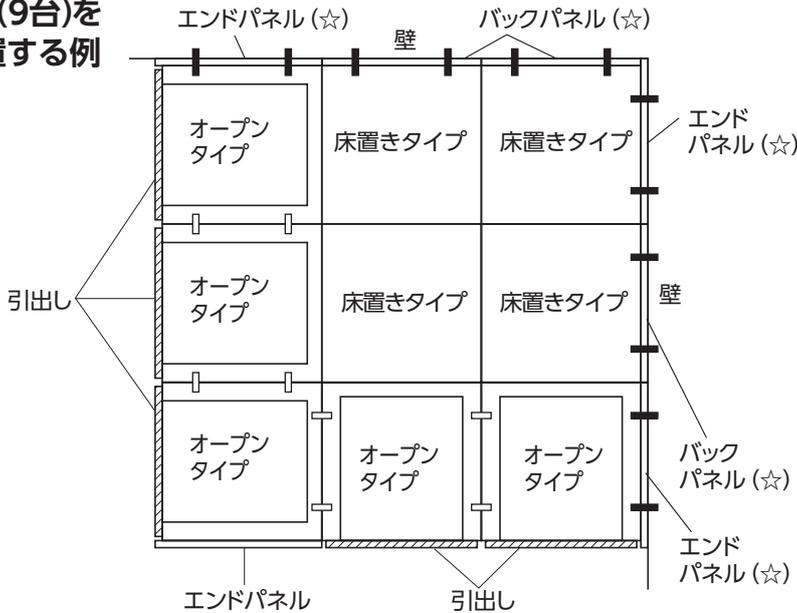
小上りユニット (4台) をコーナーに設置する例



小上りユニット (3台) を壁面に設置する例



小上りユニット (9台) をコーナーに設置する例



(☆) 壁に巾木が設置されている場合は、エンドパネルまたはバックパネルを巾木の高さの分カットして、壁側に配置してください。
また、引出しが壁面に沿って引出される場合は、引出しの遊びにより、壁に当たることがあります。そのため、エンドパネルまたはバックパネルを壁側に配置し、ユニットを壁面から離してください。
これらに該当しない場合は、エンドパネルまたはバックパネルを壁側に配置する必要はありません。

6 施工前の準備

右図の位置に、壁固定のための下地棧 (下記サイズ) を配置してください。

壁際の壁固定が推奨ですが、スベリ止めを貼れば固定が不要です。

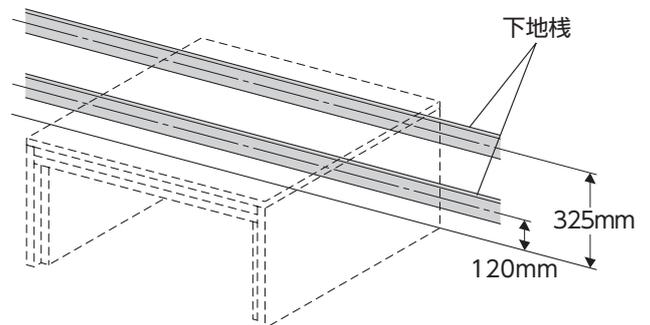
〈下地棧のサイズ〉

合板下地…12mm厚以上

針葉樹材など…15mm厚×80mm幅以上

⚠ 注意

⊘ 規定のサイズ以下の下地棧を使用しないでください。
壁固定が外れて、けがや破損の原因になります。



7 小上りユニットの組立て

◆施工上のご注意

- 製品を組立てるときは、部材を直接床の上に置かないでください。
- 養生材または梱包材の上に、ビスや釘などが落ちていないか確認してから作業してください。製品または床材にキズがつくおそれがあります。

施工の際は、以下の工具をご用意ください。

- ⊕ドライバー (No.2)
- 電動ドリル (インパクトドライバーは不可)
- ゴムハンマー
- 接着剤 (付属品)



※左記のマークがある場合は、電動ドリルを使用しないでください。

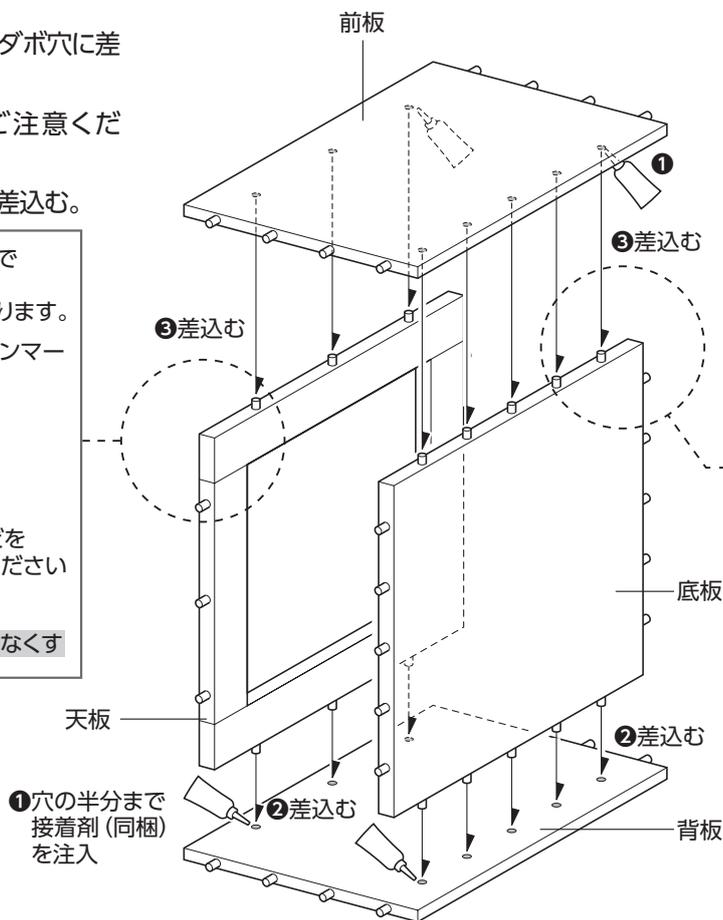
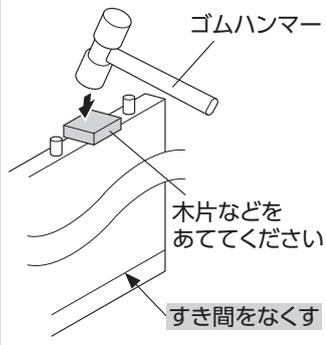
1 ユニット本体の組立て

図中の丸数字 (①など) は、手順を表しています。

〈床置きタイプの場合〉

- ① 前板・背板のダボ穴に接着剤 (同梱) を注入する。
- ② 天板・底板を背板のダボ穴に差込む。
※ 天板の向きにご注意ください。
- ③ 前板を天板・底板に差込む。

注 強い力でたたかないでください。破損するおそれがあります。



◆施工上のご注意

天板には表裏があります。向きにご注意ください。

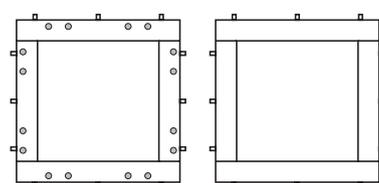
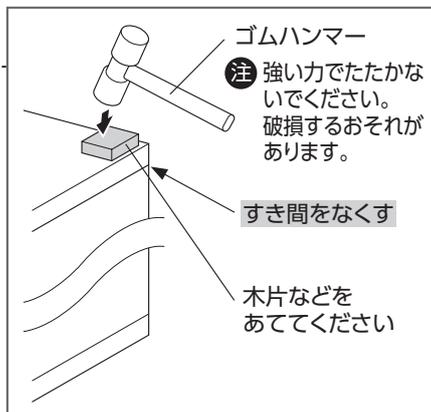


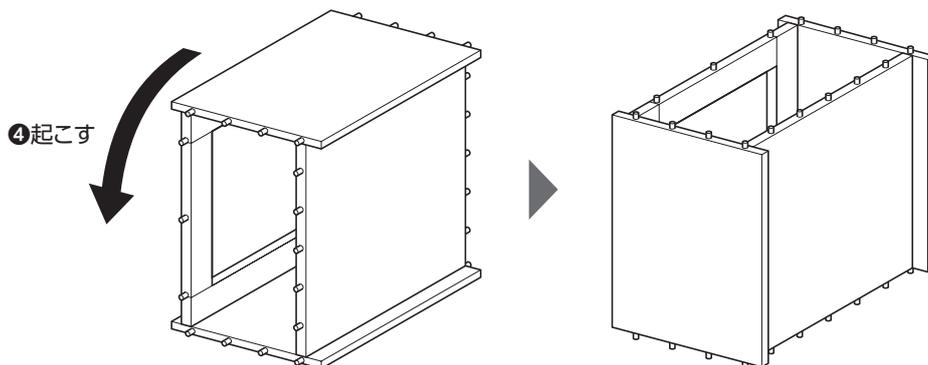
表 (畳用天板側) 座繰り加工あり

裏 (底板側) 座繰り加工なし

※ 座繰り加工位置は畳用天板のビス位置と合うようになっています。



- ④ 組立てたユニットを起こす。

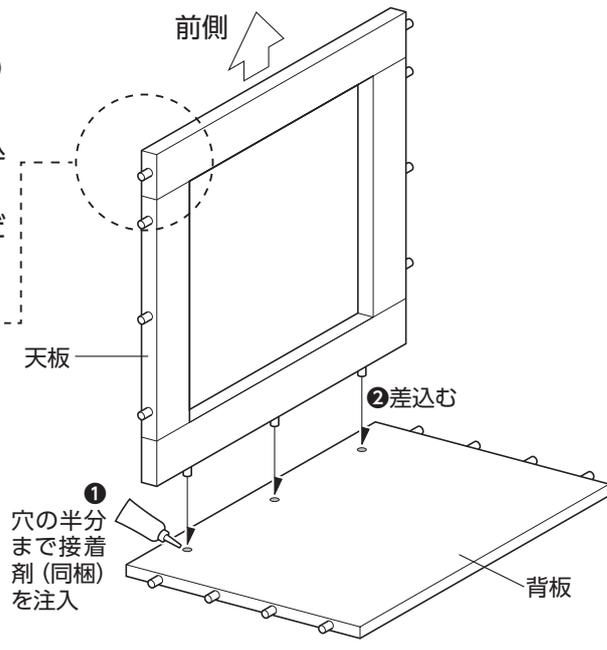
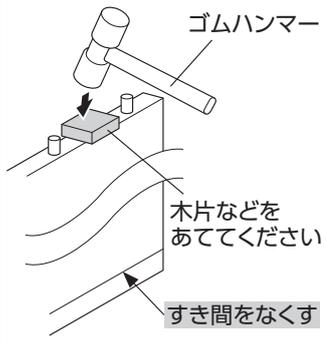


7 小上りユニットの組立て

〈オープンタイプの場合〉

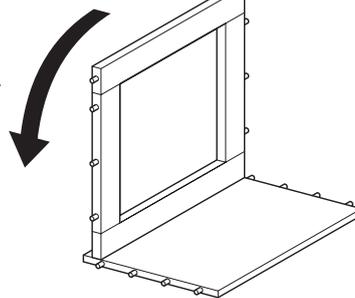
- ① 背板のダボ穴に接着剤(同梱)を注入する。
- ② 天板を背板のダボ穴に差込む。
※ 天板の向きにご注意ください。

注 強い力でたたかないでください。破損するおそれがあります。



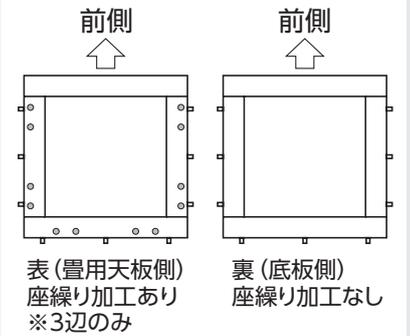
- ③ 組立てたユニットを起こす。

③ 起こす



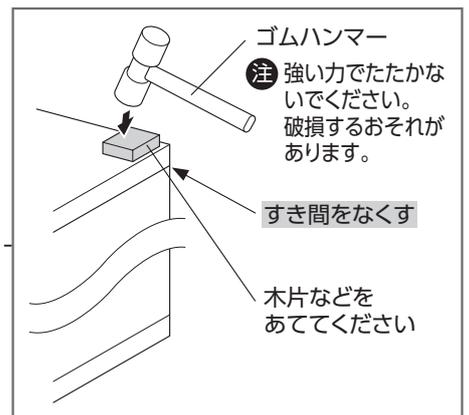
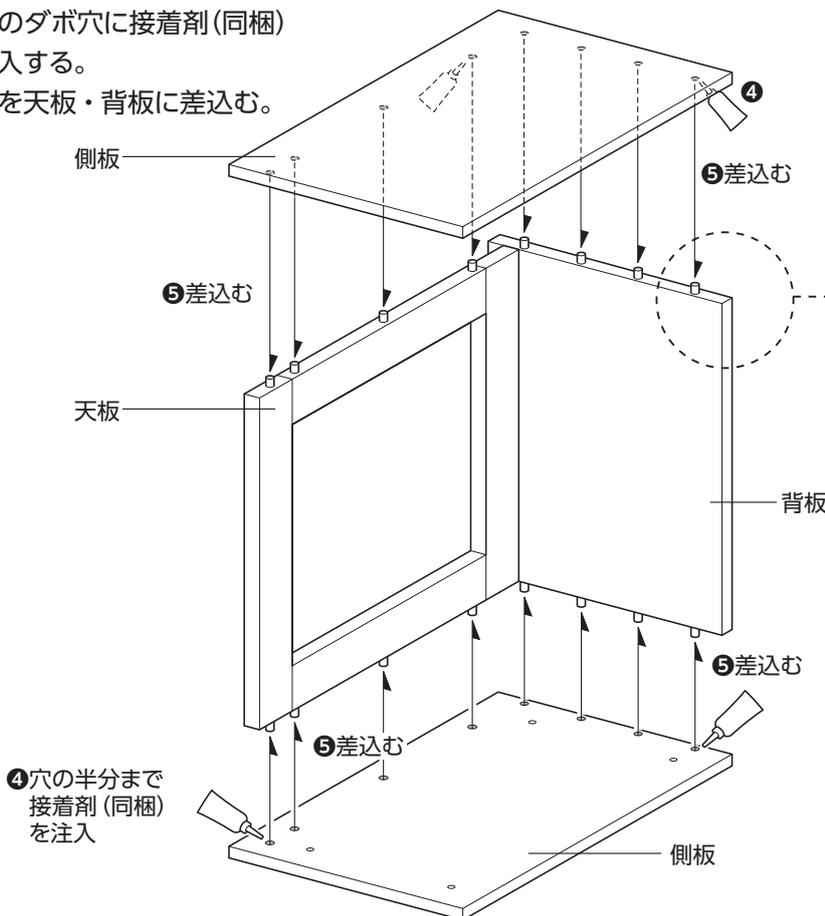
□施工上のご注意

天板には表裏および上下があります。向きにご注意ください。



※ 座繰り加工位置は畳用天板のビス位置と合うようになっています。

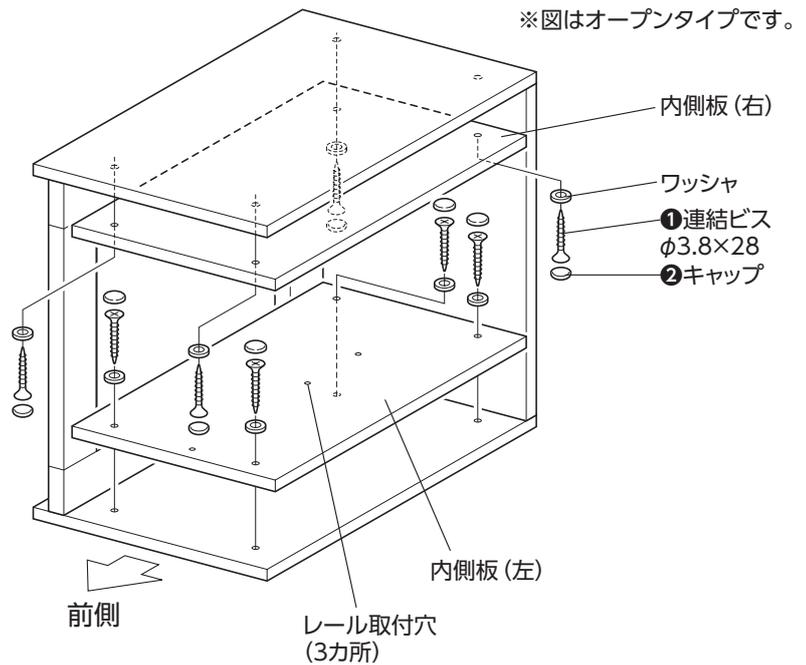
- ④ 側板のダボ穴に接着剤(同梱)を注入する。
- ⑤ 側板を天板・背板に差込む。



7 小上りユニットの組立て

2 内側板の取付け

- ① 側板に内側板 (左右とも) を、ビスで固定する。
- ② ビスの頭にキャップをはめ込む。

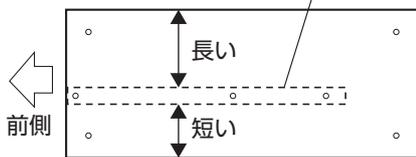


※床置きタイプの内側板には、左右はありません。

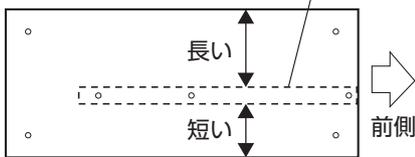
◆施工上のご注意

内側板はレール取付穴がある面を内側にして、レール取付穴が前側になる向きで取付けてください。

〈内側板 (左)〉 レール取付穴 (3カ所)

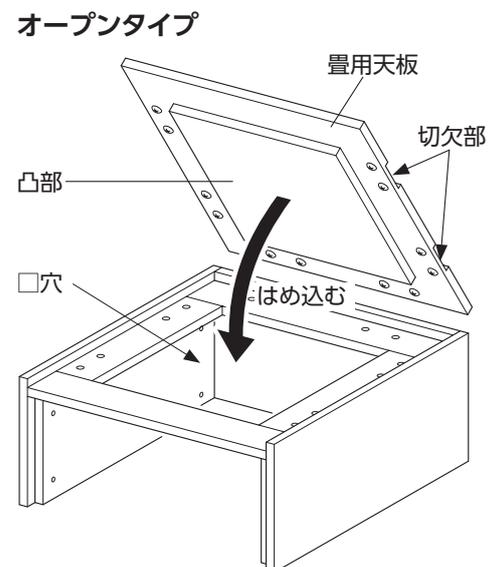
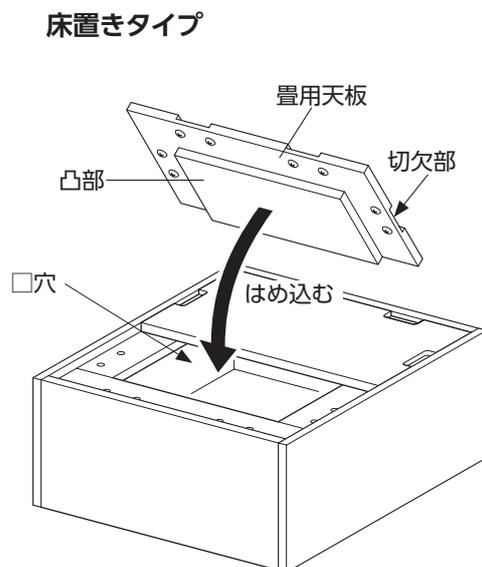


〈内側板 (右)〉 レール取付穴 (3カ所)



3 畳用天板の取付け

- ① 畳用天板の切欠部を両手で持ち、天板の□穴に畳用天板の凸部をはめ込むようにのせる。



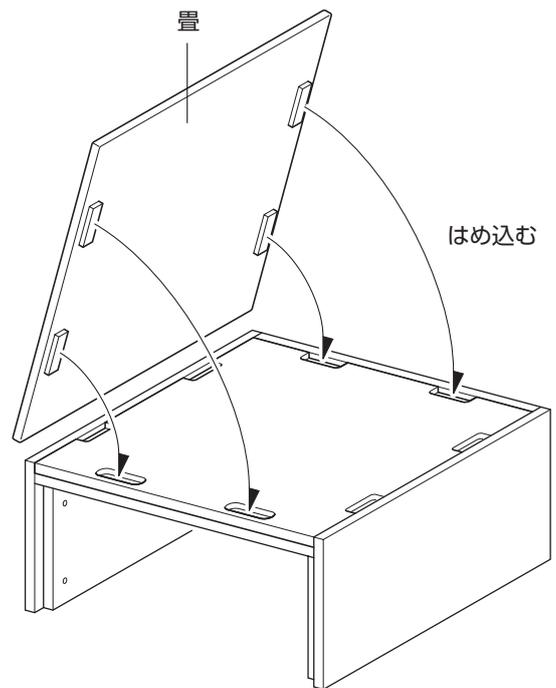
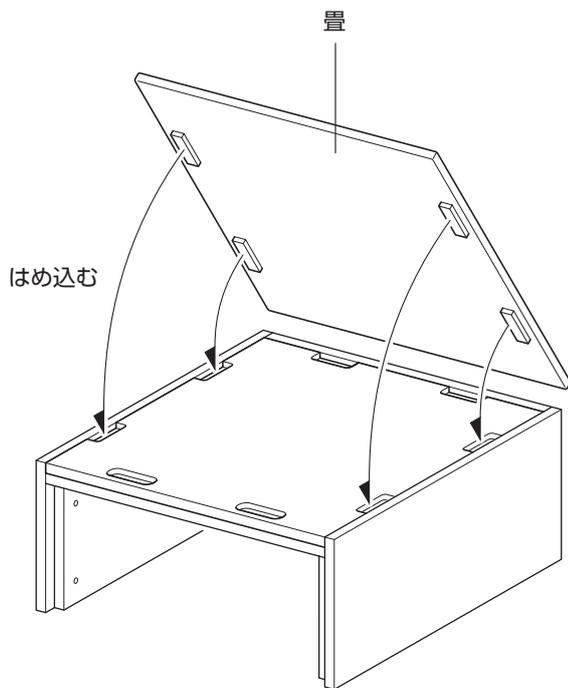
※天板の座繰り加工は畳用天板の切欠部のビス位置と合うようになっています。

7 小上りユニットの組立て

4 畳の取付け

- ① 畳用天板の上に畳をのせる。
- ※ 畳の織目の方向は、畳のはめ込む方向を変えることで 90° 回転させることができます。

※図はオープンタイプです。



8 引出しの組立て (オープンタイプのみ)

◆施工上のご注意

- 製品を組立てるときは、部材を直接床の上に置かないでください。
- 養生材または梱包材の上に、ビスや釘などが落ちていないか確認してから作業してください。製品または床材にキズがつくおそれがあります。

施工の際は、以下の工具をご用意ください。

- ⊕ドライバー (No.2)
- 電動ドリル (インパクトドライバーは不可)
- ゴムハンマー



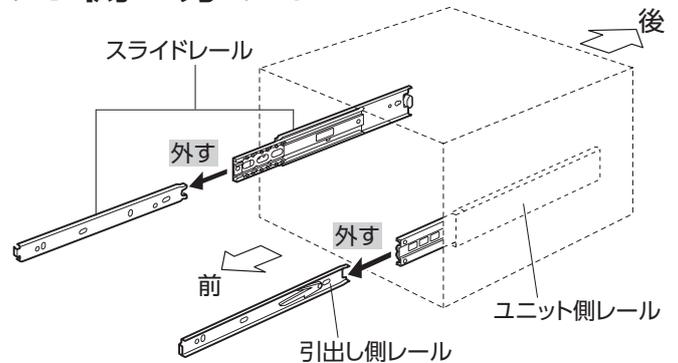
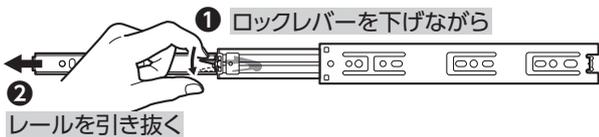
※左記のマークがある場合は、電動ドリルを使用しないでください。

1 スライドレールの準備

図中の丸数字 (❶など) は、手順を表しています。

1 スライドレールを引出し側とユニット側に分ける

スライドレールの分けかた



2 組立て

図中の丸数字 (❶など) は、手順を表しています。

1 引出し本体へのレールの取付け

◆施工上のご注意

- スライドレールを取付けるビスの長さに注意してください。引出し側用とユニット側用ではビスの長さが異なります。

固定ビスの長さ

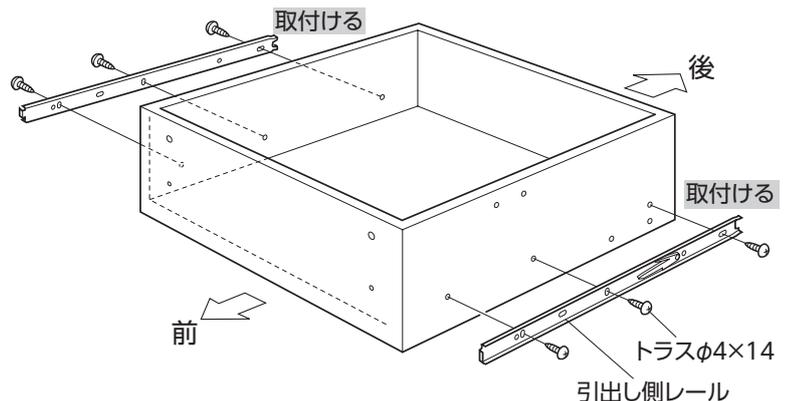
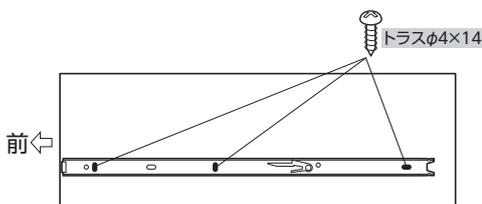


ユニット側用

❶ 引出し本体の下穴に、引出し側レールを取付ける。

ビス取付位置 (下図の●の位置)

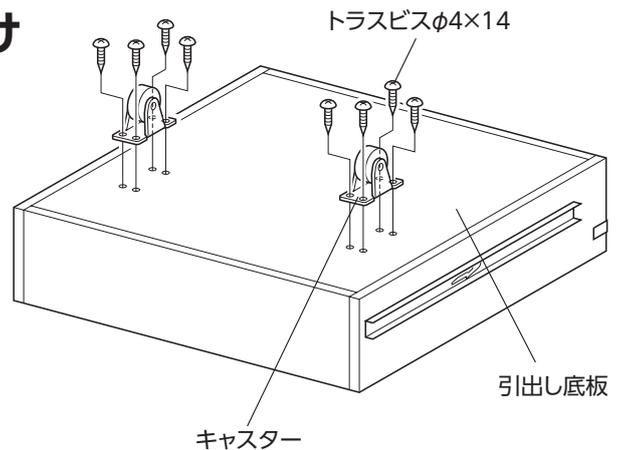
※図は右側から見ています。向きは逆ですが、左側も要領は同じです。



8 引出しの組立て (オープンタイプのみ)

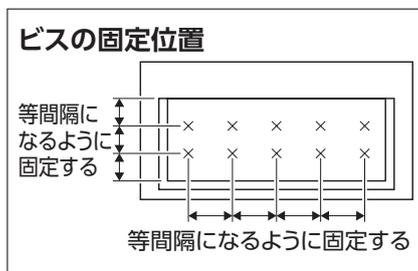
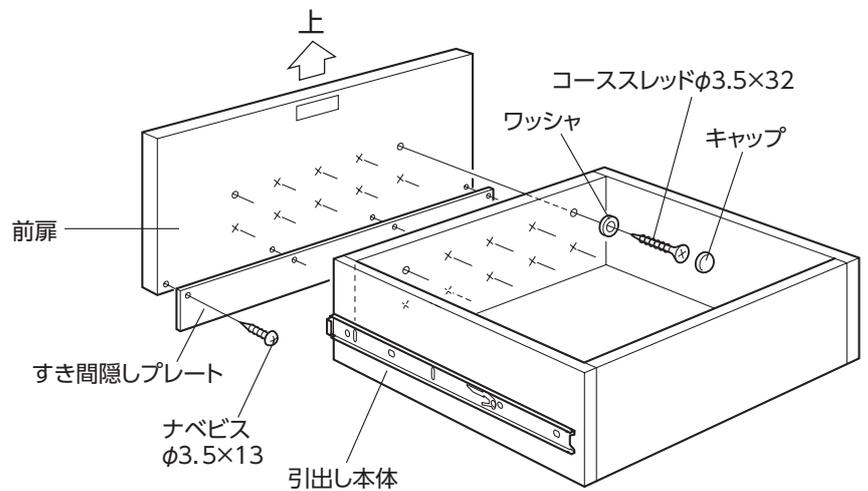
2 引出し本体へのキャスターの取付け

引出し本体の底板の下穴に、キャスターを取付ける。



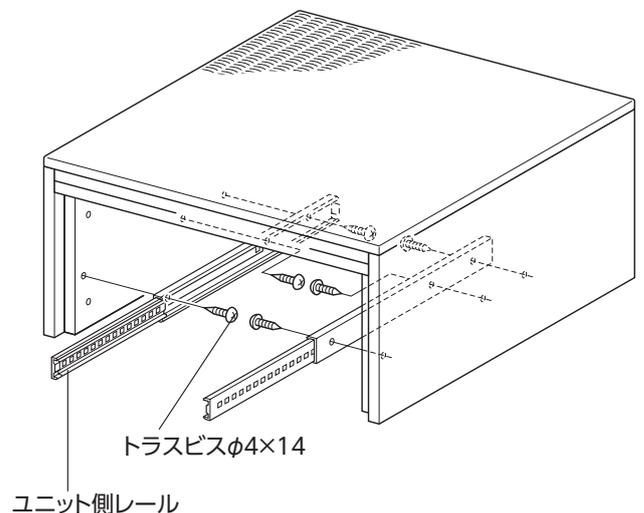
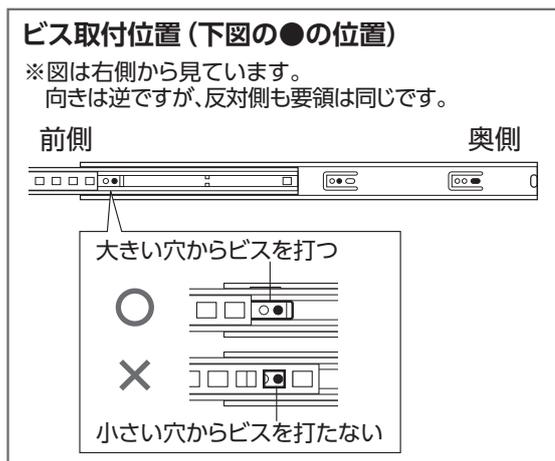
3 引出し本体への前扉の取付け

- ① すき間隠しプレートを前扉にナベビスφ3.5×13で取付けてください。
※幅が特注の場合は、取付けできません。
- ② 前扉を、引出し本体のリード穴2カ所からコーススレッドφ3.5×32で固定してください。
- ③ 前扉を、等間隔になるように8カ所をコーススレッドφ3.5×32で固定してください。



4 小上りユニットへのレールの取付け

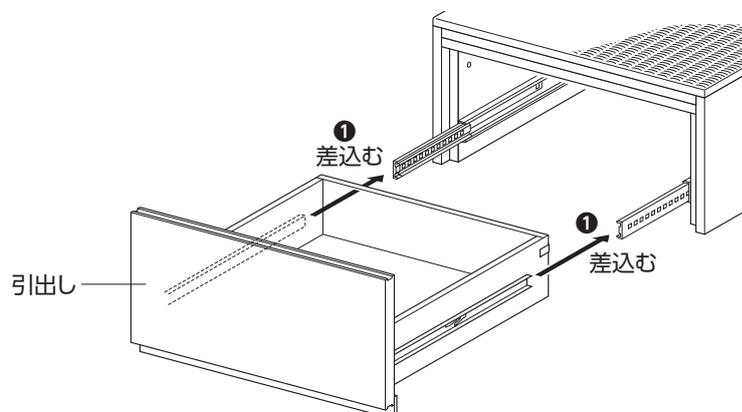
- ① ユニット側レールを引出す。
- ② ユニット側板のダボ穴に、ユニット側レールを取付ける。



8 引出しの組立て (オープンタイプのみ)

5 小上りユニットへの引出しの取付け

引出しレールをユニット側レールに差込み、引出しを押し込む。

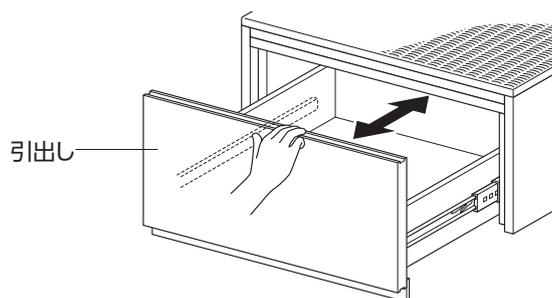


3 作動確認と取外し

図中の丸数字 (①など) は、手順を表しています。

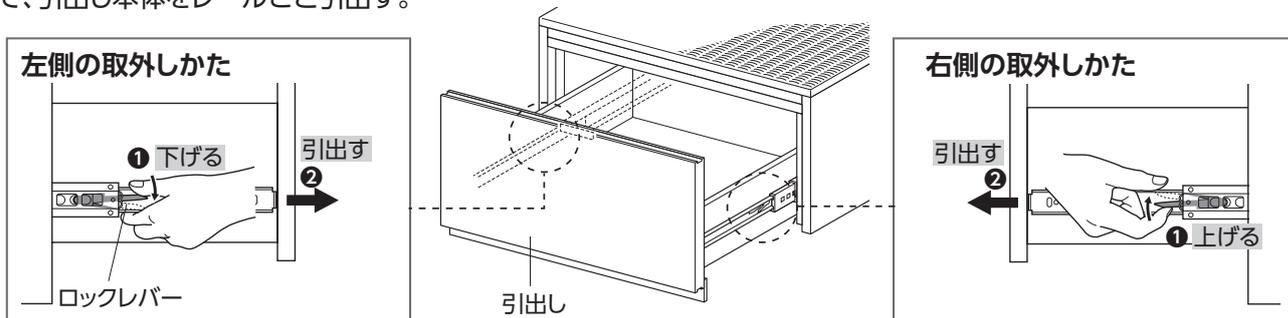
1 引出しの作動確認

引出し本体を2～3回開閉し、引出しの開閉動作やキャスターの回転りに問題がないか確認する。



2 引出しの取外しかた (左右で違います)

引出し本体を前に引出し、ロックレバーの右側は上げ・左側は下げて、引出し本体をレールごと引出す。



9 オプション・その他の取付け

◆施工上のご注意

- 製品を組立てるときは、部材を直接床の上に置かないでください。
- 養生材または梱包材の上に、ビスや釘などが落ちていないか確認してから作業してください。製品または床材にキズがつくおそれがあります。

施工の際は、以下の工具をご用意ください。

- ⊕ドライバー (No.2)
- 電動ドリル (インパクトドライバーは不可)
- ゴムハンマー
- 接着剤 (付属品)



※左記のマークがある場合は、電動ドリルを使用しないでください。

1 エンドパネル・バックパネルの取付け

1 エンドパネル・バックパネルの納まりについて

エンドパネルのサイズは、H386×D855×t15です。

バックパネルのサイズは、H386×W820×t15です。

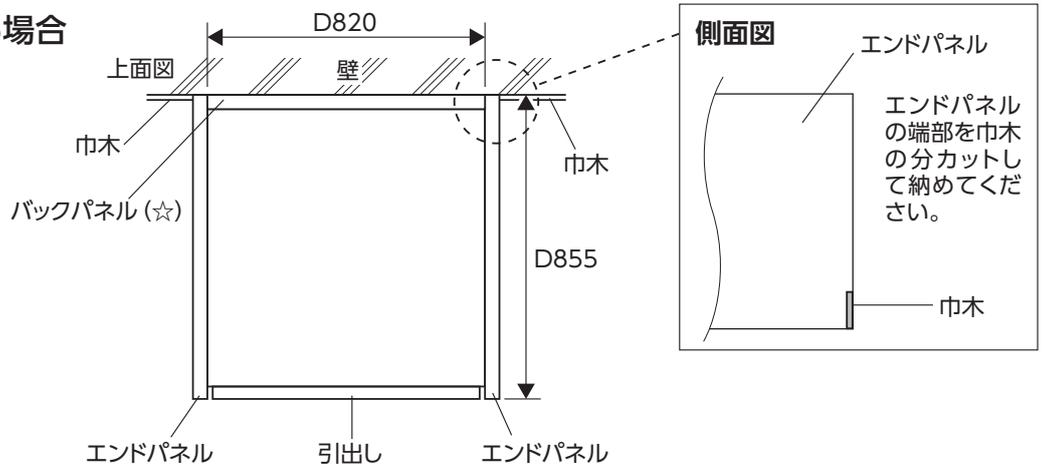
必要に応じてエンドパネルをカットし、納めてください。バックパネルはカット不要です。

〈レイアウト例〉

下記以外のレイアウトについては、必要に応じてエンドパネルをカットして納めてください。

A ユニット背面を壁に付ける場合

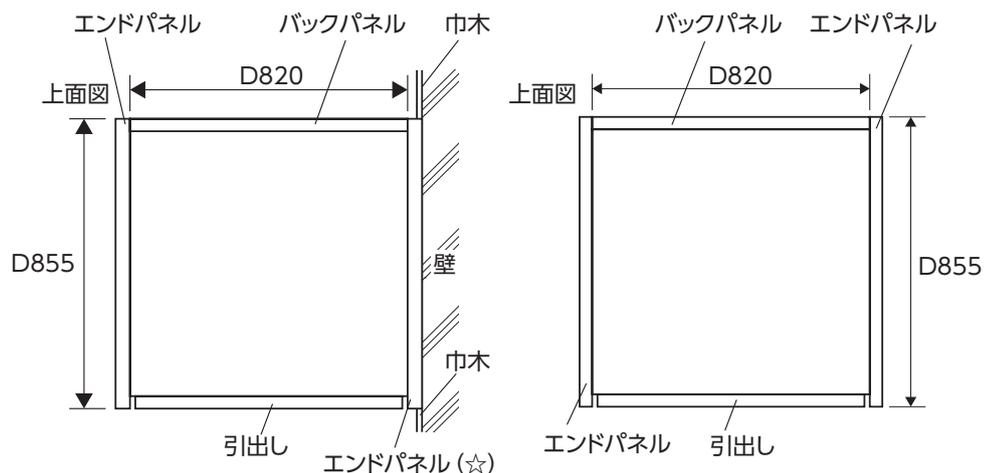
(☆) 壁に巾木が設置されている場合は、エンドパネルまたはバックパネルを巾木の高さの分カットして、壁側に配置してください。また、引出しが壁面に沿って引出される場合は、引出しの遊びにより、壁に当たることがあります。そのため、エンドパネルまたはバックパネルを壁側に配置し、ユニットを壁面から離してください。これらに該当しない場合は、エンドパネルまたはバックパネルを壁側に配置する必要はありません。



B ユニットの側面を壁に付ける または空間の真中に置く場合

〈側面を壁に付ける場合〉

〈空間の真中に置く場合〉

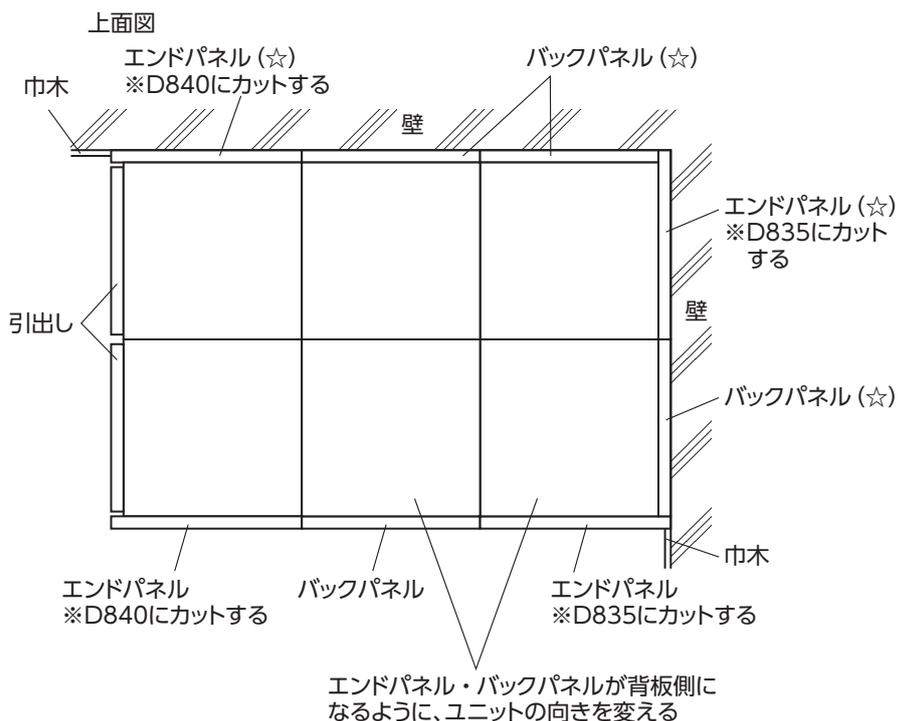


9 オプション・その他の取付け

C ユニートを連結させる場合

※図のレイアウトは一例です

(☆) 壁に巾木が設置されている場合は、エンドパネルまたはバックパネルを巾木の高さの分カットして、壁側に配置してください。
 また、引出しが壁面に沿って引出される場合は、引出しの遊びにより、壁に当たることがあります。そのため、エンドパネルまたはバックパネルを壁側に配置し、ユニットを壁面から離してください。
 これらに該当しない場合は、エンドパネルまたはバックパネルを壁側に配置する必要はありません。



2 エンドパネル／バックパネルの取付け

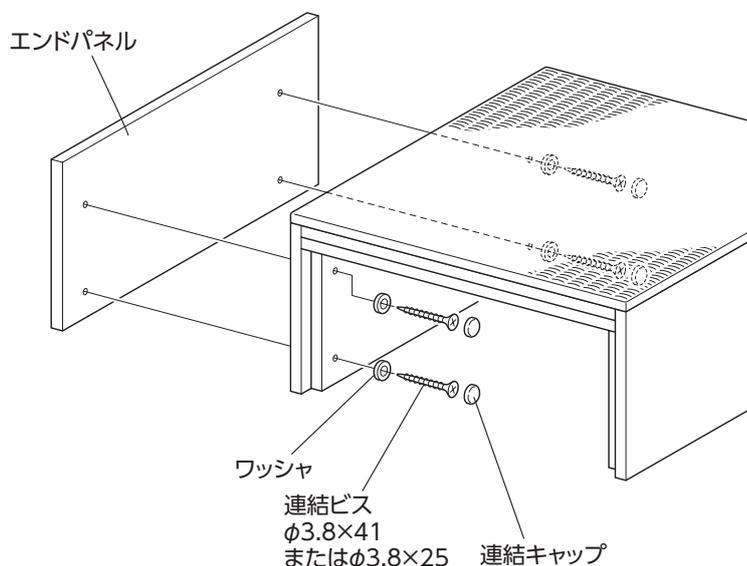
エンドパネル／バックパネルを、ユニットの内側からビスで固定する。

※取付ける場所によって使用するビスが異なります。

側板に取付ける場合：連結ビスφ3.8×41

背板に取付ける場合：連結ビスφ3.8×25

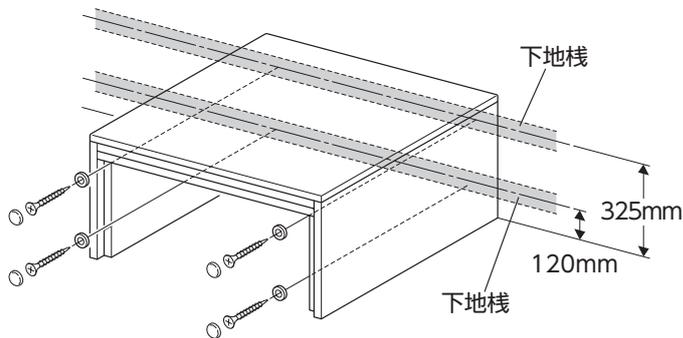
※天板のはめ込みがきつい場合は、木片などをに入れて、すき間を空けてください。



10 ユニットの連結・壁への固定

⚠ 注意

- ❗ 小上りユニットを壁面に設置する場合は壁固定が必要です。必ず壁固定をおこなってください。壁固定をおこなわないと、ユニットが動いてけがや破損のおそれがあります。
- ❗ 壁固定は必ず、下記サイズ以上の下地棧に固定してください。
 合板下地…12mm厚以上
 針葉樹材など…15mm厚×80mm幅以上
 規定のサイズ以下の下地棧に固定すると、壁固定が外れて、けがや破損のおそれがあります。

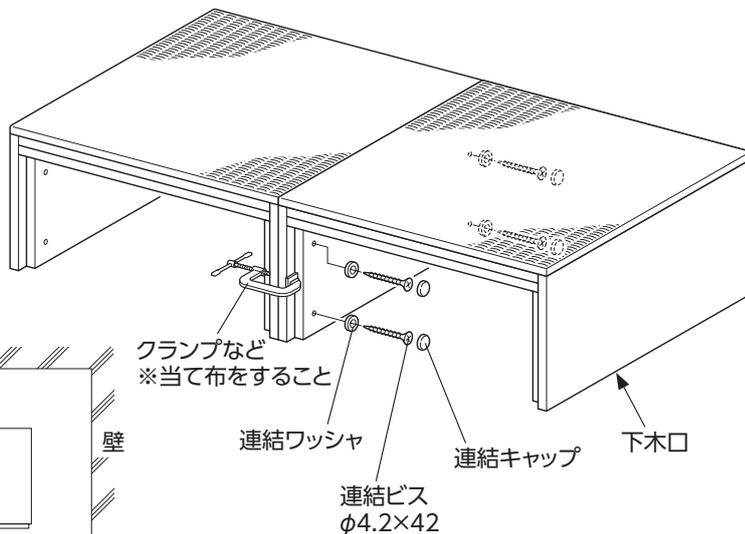


1 ユニットの連結

- ① 連結するユニットを密着させる。
 ※確実に密着するよう、クランプなどをお使いください。
- ② ユニットの連結ビスで連結し、連結キャップを取付ける。

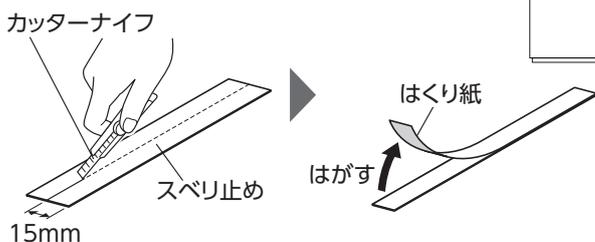
⚠ 注意

- ⊘ φ3のダボ穴を使用して連結しないでください。
 十分な強度が得られません。



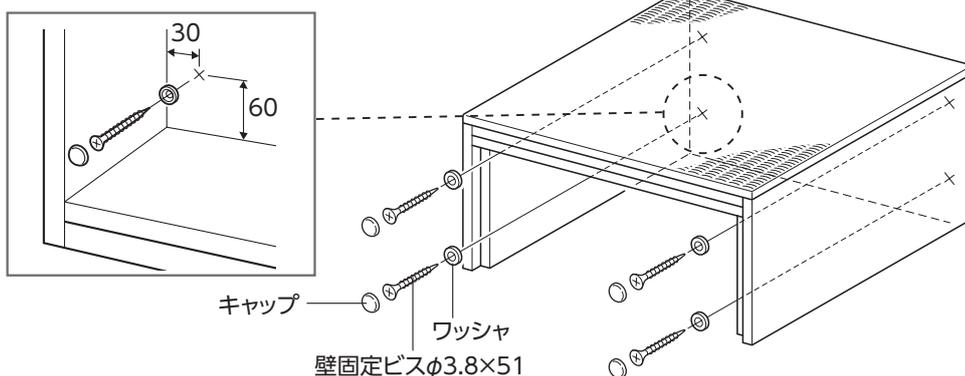
〈単品を壁から離して空間の真中に置く場合〉

- ① スベリ止めを15mm幅にカットする。
- ② ユニットの下の木口中央にスベリ止めを貼る。



2 壁(固定用棧木)への固定

ユニットを壁に壁固定ビスで固定し、キャップを取付ける。

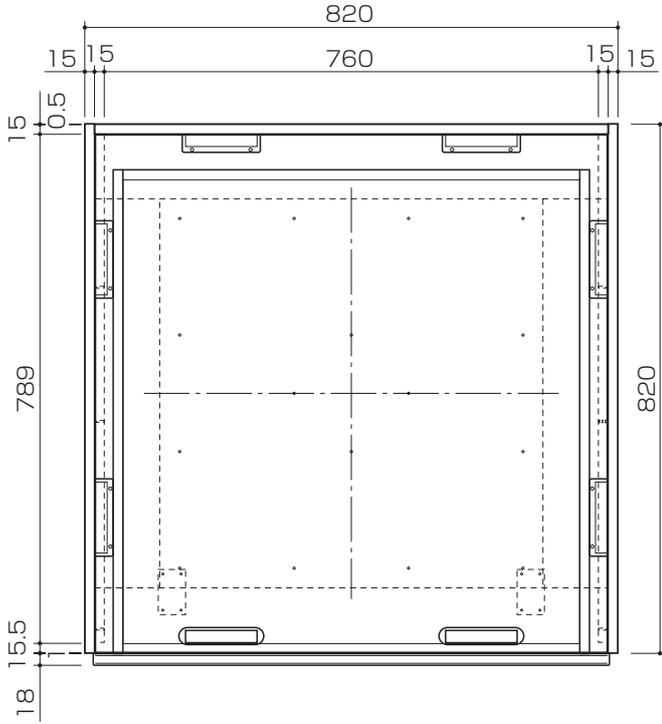


※内側板を介して固定する際は、壁固定ビスφ3.8×75を使用してください。

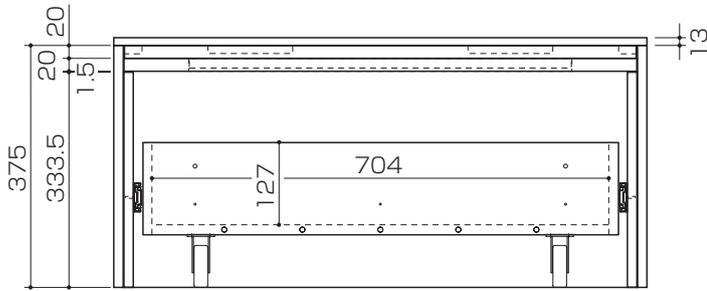
11 製品寸法図

小上リユニット オープンタイプ

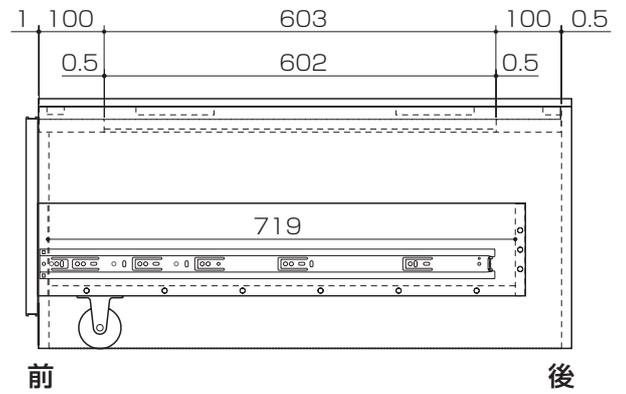
上面図



正面図



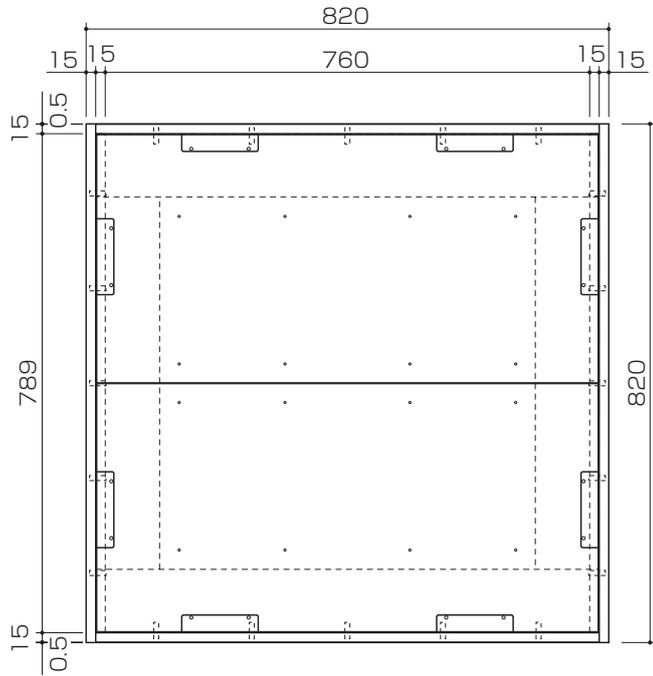
側面図



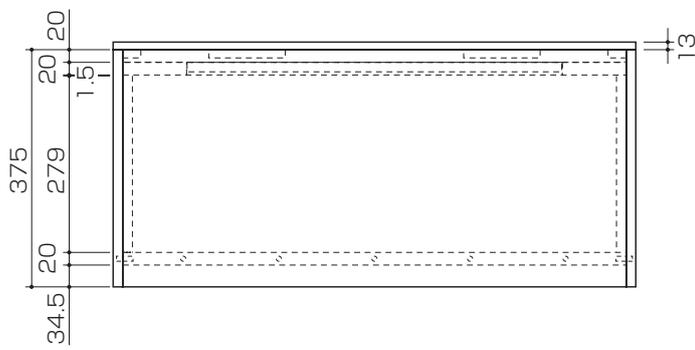
11 製品寸法図

小上リユニット 床置きタイプ

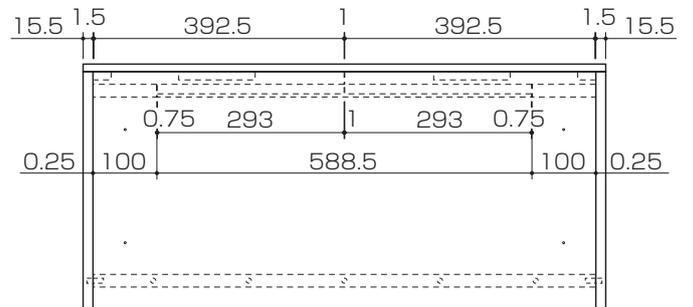
上面図



正面図



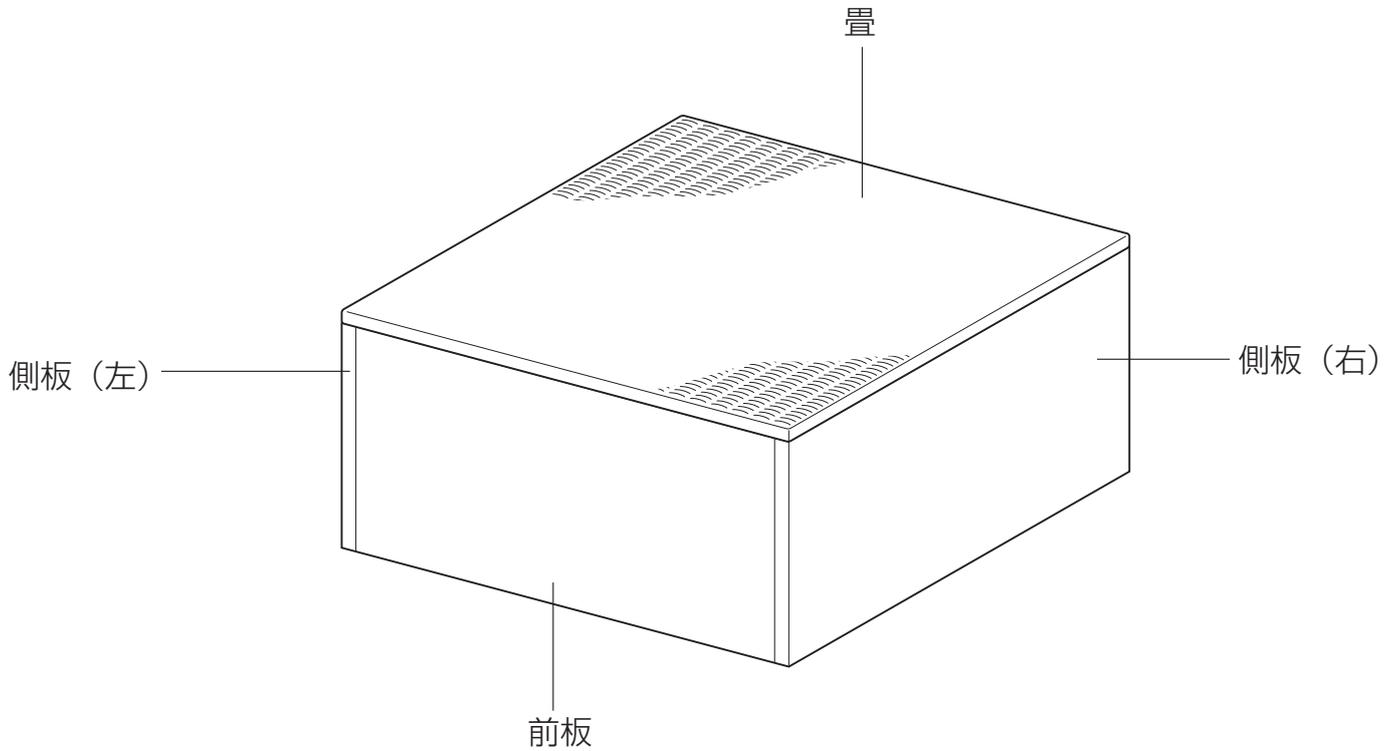
側面図



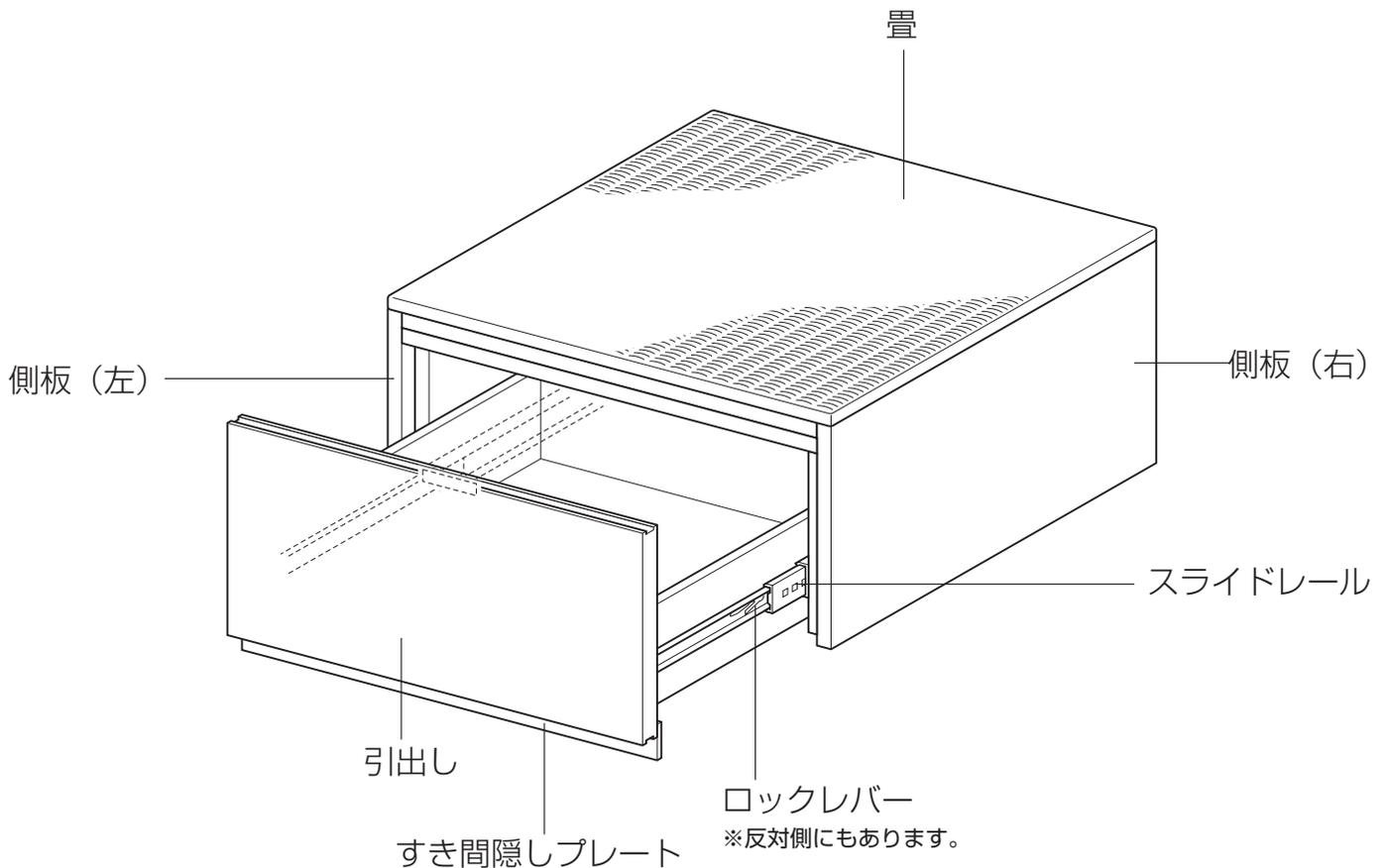
1. お使いになる前に

各部のなまえ

床置きタイプ



オープンタイプ



1. お使いになる前に

安全上のご注意 (必ずお守りいただきたいこと)

この説明書に書かれた注意事項は、あなたや他の人への危害や物的損害を防ぐためのものです。必ずお守りください。

警告表示の種類と内容

| | | | | | |
|---|-----------|-------------------------------|---|-----------|---------------------------------|
|  | 警告 | 誤った取扱いにより死亡や重傷などに結びつく可能性のある内容 |  | 注意 | 誤った取扱いにより傷害または家屋・家財などの損害に結びつく内容 |
|---|-----------|-------------------------------|---|-----------|---------------------------------|

本文中に使われている図・記号の意味は次のとおりです。

| | | | | | |
|---|-------------|---|----------------|---|-----------------------|
|  | してはいけない内容です |  | 必ず実行していただく内容です |  | 留意事項、操作方法、使用・お手入れ方法など |
|---|-------------|---|----------------|---|-----------------------|

警告

- ⊘ お客様で、製品の解体や移設・レイアウト変更をしないでください。
組立・施工が不十分ですと、破損や転倒によりけがをする原因になります。必ずお買い上げの販売店、工事店にご相談ください。

注意

- ⊘ 乱暴な取扱いや収納家具としての用途以外の使用はしないでください。
けがや故障・破損の原因になります。
- ⊘ ストープなど火気を近づけて使用しないでください。
やけどや火災の原因になります。
- ⊘ 製品の上で立ち上がりたり、飛び跳ねたりしないでください。(特にお子様に注意してください。)
転倒・転落や破損によるけがの原因になります。
- ⊘ 製品の上に重量物をのせないでください。
変形や破損によるけがの原因になります。
- ⓘ 引出しの出し入れは、静かにゆっくりおこなってください。
乱暴に出し入れしますと、引出しやキャスター・レールの破損や外れによるけがのおそれがあります。
- ⊘ 引出しを出した状態で、引出しの上ののったり、中に入ったり、腰かけたりしないでください。(特にお子様に注意してください。)
引出しの変形や破損によるけがの原因になります。
- ⓘ 引出しレールなどの可動部に、手や指、衣服などをはさまないように注意してください。
けがをするおそれがあります。

- ⓘ オープンタイプはフローリングで使用してください。
カーペットや畳で使用されると、引出しのキャスターがスムーズに動かないことがあり、床面が傷つくおそれがあります。
- ⊘ 引出しレールなど可動部に注油しないでください。
油がたれて床や衣類を汚す原因になります。
- ⊘ 製品の分解や改造をしないでください。
製品強度が失われ、けがや破損・故障の原因になります。
- ⊘ 各部のビスがゆるんだままで使用しないでください。
本体の変形・破損や転倒により、けがをする原因になります。早めに締め直してください。
- ⓘ 部材の欠落や変形など、異常を発見したときは、直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店、工事店にご相談ください。
そのまま使用していると、商品の破損により、けがをするおそれがあります。
- ⊘ 製品に貼ってあるラベルを、はがさないでください。
誤った使いかたや事故を防止するためのものです。

耐荷重(静荷重)について

| | |
|--------------|----------|
| 小上りユニット天板 | 100 kgまで |
| キャスター付重量用引出し | 50 kgまで |
| 床置ユニット内部 | 50 kgまで |

荷重を超えると、破損やけがの原因になります。

1. お使いになる前に

使用上のご注意

- 使用を開始してから、収納したものの重量や床の状態により、製品にゆがみが出て、垂直や水平でなくなったり、すき間が目立ったりすることがあります。各部の確認と調整をおこなってください。不具合が出たまま使用していると、故障の原因になります。
- この製品に以下のものを直接置かないでください。なべ敷など敷物を敷いてください。
 - ・ 熱い湯のみや加熱したなべ・やかんなど、熱を発生するもの
 - ・ 金属や陶器など、硬いもの
 変色や変形、発火、傷がつく原因になります。
- 製品の上に飛び乗ったり、走り回ったりしないでください。裏面に滑り止め加工をしていますが、動く場合があります。また、畳の目に沿った方向は滑りやすくなりますので、ご注意ください。
- 製品の表面に長時間、温風ヒーターの温風や、放射式ストーブの熱が直接当たらないようにしてください。
- ホットカーペットを製品の上で使用しないでください。製品の表面を傷めたり、反ったり縮んだりする場合があります。
- 製品の表面にクレヨンや油性マジック、インク、墨などを付けしないでください。汚れが落ちない場合があります。
- ときどき、ボルトやネジのゆるみによるガタツキがないか点検し、ある場合は締め付けてください。
- この製品に以下のものをこぼしたままにしたり、収納したり、放置したりしないでください。水分は残らないように拭き取ってください。
 - ・ 飲み物などの水分、ぬれたもの
 - ・ ビニールなどの樹脂製品やゴム製品
 - ・ 入浴剤や毛染液など染料の強い薬剤
 - ・ 酸・アルカリ性溶剤、有機溶剤
 変色や変形、軟化、ひび割れ、反り、サビ、色移りの原因になります。

木質収納扉の反りについて

木材を原料とする木質材料【合板、パーティクルボード、MDF（ミディアムデンシティファイバーボード）など】を加工して作られた製品は、空気中の水分を吸収したり放出したりすることにより、伸縮する特性を有しています。この空気中の水分の吸収・放出は、温度、湿度などの環境条件の変化に応じて発生するものであり、自然現象といえます。特に、室内と収納内部の環境条件が大きく異なる場合、「反り」という現象が発生することがあります。

「反り」の発生をできるだけ抑える方法について

ご使用の環境や設置場所によって「反り」が発生する場合があります。「反り」の発生をできるだけ抑える方法として、次のことにご注意ください。

1. エアコン、暖房器具などをお使いになる場合は、製品に直接熱風、熱気が当たらないようにしてください。
2. 夏場の冷房、梅雨時の除湿、冬場の暖房などにより、室内と収納内部の環境条件の差を極端に大きくしないでください。
3. 製品に直射日光が当たる場合は、窓辺にカーテン、スダレなどを設けて日光を遮ってください。

発生した「反り」は、室内と収納内部の環境条件を近づけることによって、小さくなる場合があります。

2. 引出しの使いかた (オープンタイプのみ)

1. 引出しの取外しかた (左右で違います)

P.13「2」を参照して、それぞれの引出しを取外してください。

2. 引出しの取付けかた

P.13「5」を参照して、それぞれの引出しを取付けてください。

3. 本体のお手入れのしかた

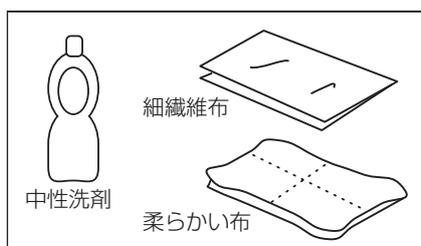
日常のお手入れ

- ・ 日常のお手入れは、乾拭きしてください。
- ・ 汚れが著しい場合は、うすめた中性洗剤につけた雑巾を固く絞って拭いた後、水分が残らないように乾拭きしてください。

◆ 汚れを落とすときのご注意

酸、アルカリ性洗剤やアルコール、シンナー、ベンジンなどを使用しないでください。
表面のツヤがなくなったり変色する恐れがあります。

使える洗剤と道具



使ってはけない洗剤と道具





抗菌防臭加工
(繊維上の細菌の増殖を抑制し、
 防臭効果を示します。)
 加工部位：表面材（畳表）
 認証番号 32221
一般社団法人繊維評価技術協議会
 別名：繊維系（金庫型）
 大建工業株式会社

4. 畳のお手入れのしかた

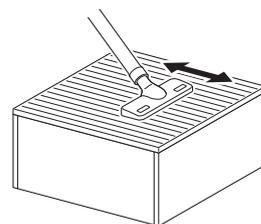
畳のお手入れ

⚠ 注意

- ① 塩素系漂白剤は、畳表の部分染み抜き以外に使用しないでください。
製品自体をいためる場合があります。
- ② 日頃の清掃と換気を必ずおこなってください。
汚れやほこり、または過度の湿気などの条件で「カビ」や「ダニ」が発生する場合があります、健康を害する可能性があります。

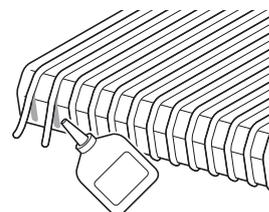
日常のお手入れ

- 掃除機は畳の目に沿ってかけてください。すき間や裏面のほこりは、定期的に取り除いてください。
裏面にほこりが入ると、滑り止め材の効果が弱くなってきます。また、ごみなどが間に入ってフローリング面を傷つけることがあります。
- 畳の角に強い衝撃を当てないようにしてください。
- 畳を干すときは、直射日光が当たらないようにしてください。
変色・変形することがあります。



こんなときは…

- たばこを落としてこげている場合は、直ちに水を掛け、火を確実に消した後、乾いた布で水分を拭取ってください。
- 醤油やコーヒーなどをこぼしたり、汚れが付いた場合は、早めに固く絞ったタオルなどで拭取ってください。
時間が経つと汚れが落ちにくくなる場合があります。
また、濡れ雑巾で必要以上に擦ると表面を傷めることがあります。
- 表材がほつれた場合は、ホットメルト接着剤または木工用ボンドを塗り、しばらく押さえてください。



その他

基材は木材チップを使用した畳ボード（木質繊維板）で、特有の臭いがする場合がありますが、健康を害するものではありません。窓を開けるなど、十分な換気を行ってください。

5. 定期的な点検項目

※ 製品の長期間の使用にともない、部品などが劣化（経年劣化）を生じ安全上支障が出るおそれがあります。

経年劣化による重大事故を防止し、製品を長く安全にご使用いただくために、お客様自身による以下の点検を実施いただきますよう、願います。

| 点検部位 | 点検項目 | 兆候有無 | 経年劣化進行にともなう具体的な事象 |
|------|--------------------------------------|------|--------------------------|
| 引出し | 引出しがスムーズに開閉できるか。 引出しレールにガタツキがあるか。 | 有・無 | 引出しの落下。 引出しレールの変形や破損。 |

⚠ 注意

- ① 点検後、上記のような異常が発見された場合は直ちに使用を中止し、施工された工事店様へ連絡し、メンテナンスを受けてください。
そのまま使用していると、部材の脱落などにより、けがをするおそれがあります。

DAIKEN製品の品質保証について

弊社では、下記対象製品について、「保証期間一覧表」に示す期間、保証事項に記す内容に基づき、無料で修理させていただきます。
保証期間経過後の修理については有料となります。

■対象製品

小上りユニット

■保証事項

通常的环境下にて、弊社の施工説明書・取扱説明書に準じた正常な施工・使用がなされている状態（前提条件）で、弊社の責任に起因する製品不具合（保証期間一覧表参照）を無料で修理します。

なお、本内容は日本国内においてのみ有効です。

※修理とは、壊れたり傷んだりした部分に手を加えて、再び使用できるようにすること。

（原則、新品交換は含みません）

■保証期間

弊社製品の施工完了後、または物件の引渡後に生じた、弊社の責任に起因する製品の不具合を無料で修理する期間としております。（保証期間一覧表参照）
保証期間経過後の修理については有料となります。

保証期間一覧表

| 保証事項 | 保証期間 | |
|---------------------------------|--------------|--------------------|
| | 保証箇所 | 起算時期 ^{※2} |
| 使用上の著しい ^{※1} 支障が生じないこと | 扉・引出しボックス本体 | 引渡後 |
| 外観上の著しい変形・変質が生じないこと | | |
| | 保証対象となる不具合現象 | 2年 |

※1:「著しい」の定義

正常な施工・使用状態のもとで経過時間を考慮し、客観的に見て通常の状態から逸脱している度合いが極めて大きいことをいいます。

※2:保証期間起算時期について

保証事項が“使用”に係るものについては、保証期間を“物件引渡後”から起算します。それ以外のものについては、“当該製品施工完了後”から起算します。

■免責事項

・製品の不具合原因が次のような場合には、保証期間内であっても保証対象外となります。

- 1) 建物の設計・施工に起因する不具合
- 2) 施工説明書に記載された方法以外の施工内容に起因する不具合
- 3) 自然現象・周辺環境など（※1）の不可抗力に起因する結露、腐食、反り、割れまたはその他の不具合
- 4) 室内であっても部屋内外の温湿度差が著しく違う部位に取付けられたことに起因する不具合
- 5) 極端に乾湿を繰り返したり、著しく高温・多湿となる部位に取付けられたことに起因する不具合
- 6) 建物自体の変形、入居後における増改築や改修等に起因する不具合
- 7) 入居者または第三者の不適切な使用または維持管理などに起因する不具合
- 8) 取扱説明書記載事項から逸脱した使用に伴う、消耗、磨耗、破損、変形などによる不具合
- 9) 経時変化による通常一般的な当該保証対象品の変褪色、汚れ、さび、かび、劣化磨耗などの不具合
- 10) 用途外に使用された場合の故障および損害（例えば、一般家庭用を業務用に、屋内用を屋外に使用された場合など）
- 11) 犬・猫・鳥・鼠などの小動物の害に起因する不具合やキウイムシなどの虫害に起因する不具合
- 12) 仕上げ面のキズなどの不具合で引渡し時に申し入れがなかった場合
- 13) 保証期間経過後の申し出、または不具合発生後速やかに申し出がなかった場合
- 14) 製造時に実用化されていた技術では予測することが不可能な事象に起因する不具合
- 15) 離島などの遠隔地への出張を要する修理をおこなう場合、出張に要する実費
- 16) その他当該不具合の発生が弊社の責によらない場合

※1:火災・地震・水害・落雷などの天災地変や、公害・塩害・ガス害や異常な高温・低温・多湿・過乾燥などの周辺環境

ユーザー登録サービス

製品を末永く安全にご使用していただくために、ユーザー登録をお願いいたします。
ご登録いただいたお客様情報は、製品安全に関する大切なお知らせや暮らしに役立つ情報をDAIKENからご連絡する際に、利用させていただきます。

ユーザー登録は無料です！！

登録はこちらから

<https://www.daiken.jp/qr/user/>



ユーザー登録いただいた方は、次の特典が受けられます

特典 パーツショップ製品10%割引

ご登録いただくと、DAIKENのパーツショップ掲載製品を通常価格の10%割引でご購入いただけます。

お問い合わせ窓口について

●製品に関するお取扱い、補修、工事などのご相談は、組立て・設置業者、工務店へ。

製品に関するお問い合わせ

DAIKENお客様センター

☎0120-787-505
(フリーダイヤル)

●受付時間…平日9:00～17:00

(土・日・祝日・年末年始・お盆はお休みをいただいています)

<https://www.daiken.jp/qr/form01/>

メールで写真も送ることができます。



修理・交換部品のご購入の方は

DAIKENパーツショップ

部品のネット販売サイトです。

※購入に際しては登録が必要です。

<https://www.daiken.jp/qr/service/>

DAIKENホームページ ▶ お客さまサポート ▶

▶▶▶▶ DAIKENパーツショップ



ご相談窓口における個人情報のお取扱い

大建工業株式会社および大建工業グループ各社は、当社「個人情報の取扱いに関する方針(プライバシーポリシー)」に則ってお客様に関する個人情報を利用させていただく場合がございます。(大建工業株式会社プライバシーポリシー)に關しましては、当社ホームページに掲載しております。) なお、電話での相談に対し、折り返し電話をさせていただくためのナンバーディスプレイを採用しています。またご相談内容を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

大建工業株式会社

DAIKENのホームページアドレス <https://www.daiken.jp/>

発行

2024年1月